

平成21年度麻布大学同窓会茨城県支部総会

関東甲信地方が例年より早い梅雨明けを迎えた真夏日の平成21年7月26日(日)、水戸市内のホテルにおいて、茨城県支部の総会が開かれました。総会では、事業及び決算報告がなされ、事業計画等が了承されました。また、本部代議員会議結果が報告されるとともに、茨城県支部として大学祭への協賛について協議が行われ、今後出店参加の方向で具体案を検討していくことを確認しました。続いて役員改選が行われ、引き続き田原支部長以下役員が一致結束して支部の運営に携わることとなりました。同窓会本部からは、来賓として柏崎直巳先生にご臨席をいただき、麻布大学や同窓会の現況などについてお話をいただきました。

総会后、懇親会が開かれ、懐かしい学生時代の昔話などでおおいに盛り上がりました。とくに、ご来賓の柏崎先生は、勤務の関係で水戸に数年間在住していたこともあり、県内の地理や事情にも造詣が深く、話題は尽きないほどでした。当日は先生も含めて27名の参加者があり、昭和24年卒から平成16年卒まで幅広い年齢層となりました。本年4月に茨城県に奉職されたという新進気鋭の若手会員の初参加もあり、同窓会の裾野が広がることを実感しました。お開きに際しては、BGMとして流した同窓会CD(麻布大学応援歌集)をバックに、全員で寮歌を斉唱するなど、青春時代にタイムスリップしたような楽しいひとときを過ごすことが出来ました。

麻布大学の卒業生は県内に約330名おりますが、同窓会に出席するのは、例年20名程度の獣医学科卒業生であり、しかも、ほぼ同じ顔ぶれになっておりました。今年は新入会員の参加もあり、これを契機としてさらに若手の参加を促すなど同窓会の活性化を進めていきたいと考えています。そのためにも、会報などに載っている他県の状況を参考にしたり、様々な試みを工夫することが重要であろうと思います。

最後になりますが、麻布大学及び同窓会のますますの発展と同窓生のご健勝を祈念申し上げます。

(昭和54年卒 鈴木睦夫 記)

